

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

▲ 平成20年(2008年) 9月号: ✨ 第50号 ✨

美しい 県土づくりNEWS



岩手県県土整備部
手づくり広報誌 50号
平成20年9月12日発行
編集 県土整備企画室

目次

- ❶ 「岩手・宮城内陸地震」復興への取組み
- ❷ 一般国道342号 道路災害関連事業について
- ❸ 『一般国道455号早坂道路改築事業』
『都市計画道路毛越寺線志羅山地区街路整備事業』
が全建賞を受賞しました!
- ❹ 『河川愛護団体に対する感謝状贈呈式』を開催
- ❺ 親子で見るダム現場!
- ❻ インターンシップ事業の紹介
- ❼ 下水道出前講座開催! ~ (財)岩手県下水道公社の取組み~
- ❽ いわて花巻空港スカイフェスタ2008のご案内



～創刊50号を迎えました～

2004年8月に産声を上げた手づくり広報誌「美しい県土づくりNEWS」は、おかげさまで創刊50号を迎えました。これからも、当部の事業の状況や県民の皆様との協働の取り組み等を紹介していきます。



(写真)

創刊号から49号までの表紙を並べてみました。これまでの約4年間の歴史が垣間見られます。

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

▲ 平成20年(2008年)9月号: ✨ 第50号 ✨

一般国道 342 号 道路災害関連事業について

道路建設課
一関総合支局土木部

6月14日8時43分に発生した岩手・宮城内陸地震(M7.2)では、震源地である一関市で震度5強を記録しました。この地震により、一関市巖美町字茂庭沢^{もはにわ}地内では、長さ70m、高さ150mの規模で道路を含めて斜面が崩れたほか、路面のひび割れ、段差等が多数発生し、道路が通行不能となりました。

県では、この被災箇所とこれに接続する未被災箇所を含めた約1.2kmのうち、道路の幅が狭く・急カーブ・急勾配となっている区間について、安全で円滑な交通を確保するため2車線道路に改良する道路災害関連事業を実施することとしています。

「道路災害関連事業」とは・・

災害復旧事業は被災した箇所を元通りにすること（原形復旧）を基本としていますが、「道路災害関連事業」は災害復旧事業に併せて、未被災箇所も含めた一連区間について、災害の防止や交通の支障となっている区間を解消するために改良工事を行うものです。

○ 事業概要

一般国道 342 号 道路災害関連事業

事業主体: 岩手県

事業箇所: 岩手県一関市巖美町字茂庭沢地内

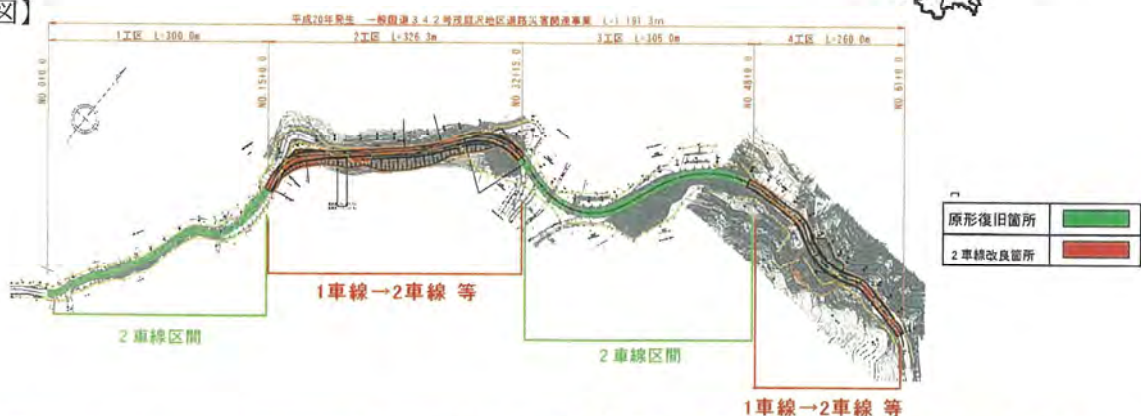
事業延長: L=1,191.3m

事業期間: 平成 20 年度～平成 22 年度

事業費: 約 3 億 5 千万円



【概略図】



『一般国道455号早坂道路改築事業』

『都市計画道路毛越寺線志羅山地区街路整備事業』

が全建賞を受賞しました！！

「全建賞」は、建設技術の活用並びに公共事業の進め方やストックの運用の工夫等により、特出した成果の得られた、もしくは、特出した成果を得ようとする事業及び施策を社団法人全日本建設技術協会（全建賞審査委員会）が毎年審査・選考し、これらを実施した機関を表彰するものです。

平成19年度全建賞は、各地方協会より239事業の推薦があり、全国で7部門59事業が選出されました。岩手県からは、道路部門で『一般国道455号早坂道路改築事業』、都市部門で『都市計画道路毛越寺線志羅山地区街路整備事業』が選出されました。

『一般国道455号早坂道路改築事業』

◀受賞機関：宮古地方振興局 岩泉土木事務所▶



早坂トンネル（盛岡側坑口）

- ◆事業期間／平成10年度～平成19年度
- ◆事業延長／4,170m（幅員9.5m）
- ◆主要構造物／トンネル1箇所 延長3,115m
橋梁4箇所 全体延長71.4m
- ◆事業費／約9,700百万円

【評価】

トンネルに通常の照明と比べ耐用時間が5倍の無電極放電灯を採用し、維持管理を簡素化。
トンネル坑口にトンネルの湧水を活用したヒートポンプ式消融雪装置を設置し、冬期交通の安全を確保。

（※この事業の詳細は、県土づくりNEWS2007.10月号に掲載しています。）

『都市計画道路毛越寺線志羅山地区街路整備事業』

◀受賞機関：県南広域振興局 一関総合支局土木部▶



街路完成写真

- ◆事業期間／平成8年度～平成19年度
- ◆事業延長／406m（幅員16m）
車道3m×2、歩道2.5～4.5m（両側）
- ◆事業費／約2,380百万円

【評価】

整備箇所が12世紀の平泉の重要な遺構である東西大路跡と重複することから、「高屋の保存」や「大路後の表現」と連続性を持たせ、世界遺産登録予定地にふさわしい整然とした都市の景観を創出。

（※この事業の詳細は、県土づくりNEWS2007.9月号に掲載しています。）

下水道出前講座開催! ~ (財)岩手県下水道公社の取組み ~

下水環境課

「下水道ってなに?」、「トイレの水はどこに行くの?」、「下水をどうやってきれいにしているの?」、などなど下水道について皆さんはどれだけ知ってらっしゃいますか?

下水道は、日常生活で欠くことのできない存在でありながら、そのしくみや役割をなかなか知る機会がありませんでした。

そこで、財団法人岩手県下水道公社は、下水道の啓蒙普及を目的として「出前講座」事業を平成19年度からスタートさせました。

このたび、一関市立山目小学校からの依頼で、4年生のみんなに講座を開きましたので、その時の様子をご紹介します。

【日時】 平成20年7月22日(火) 2時限目~4時限目

【場所】 一関市立山目小学校視聴覚室

【対象】 4年生(3クラス計97名 ※1クラス毎に1時限)

【講座の内容】

下水道の歴史や仕組みを説明し、下水中の微生物の映像を見たり、実際の下水の香りを体感したりしました。

【講座の様子】

微生物が下水中のよごれを食べるところの映像を見たときには、「お〜!」とか「きもい〜」といった声が上がりました。また、処理前の下水のにおいをかいた時には「くっせ〜! きゃあ〜」と悲鳴が上がりましたが、処理した後の下水をかいた後には「くさくない! ヘ〜すごい!」とびっくりしていました。質問の時間では、「きれいになった水は飲めるのですか?」、「微生物は何種類いるのですか?」というような発言がたくさん出され、生徒の皆さんに下水道について少しでも興味を持ってもらえたと感じることが出来ました。



目と匂いでサンプル観察



生徒達の質問の様子



★出前講座は随時受け付けておりますので、下記までお気軽にお問い合わせください。

【問合せ先】 岩手県県土整備部下水環境課

TEL: 019-629-5896 (担当: 長沼)

(財)岩手県下水道公社企画管理課

TEL: 019-638-2623 (担当: 佐々木)